



やまさき まさおみ  
**山崎 正臣**選手

今年、弓道成年男子に出場した山崎選手。近的で見事4位に入賞。3人で競われるこの種目で3番手を務めた山崎選手。9中で並んだ決勝トーナメント1回戦で4射中4中、準決勝でも4射中4中と活躍されました。山崎選手は昨年の全日本弓道選手権大会(個人)でも4位に入賞されています。土佐山田町楠目在住。山田高校弓道部出身。40歳。



▲左から奥村選手、小笠原選手、西峯選手、山崎選手(土佐山田町須江・時久弓道場)



おがさわら ちょうじ  
**小笠原兆志**選手

昨年、弓道少年男子の遠的で優勝した小笠原選手。今年も遠的で優勝。近的にも準優勝。3人で競われる両種目で1番手を務めた小笠原選手。遠的で、チームが予選～決勝を通じて的を外したのは60射中、3射のみ。圧倒的な強さで連覇を果たされました。近的決勝でも4射中4中と活躍されています。土佐山田町楠目在住。鏡野中卒業。高知南高校3年生。18歳。



にしみね しゅうへい  
**西峯 秋平**選手

今年、弓道成年男子に出場した西峯選手。初出場ながら、近的で見事4位に入賞。3人で競われるこの種目で2番手を務めた西峯選手。予選で8射中7中、3位決定戦でも2射中2中と活躍されました。松山大学在学時には、西日本学生弓道選手権大会において、2位の成績を収められています。土佐山田町杉田在住。山田高校弓道部出身。24歳。

# 今年も活躍 香美市から 国体弓道 4人が入賞

9月29日から10月2日まで、東京都立小金井公園弓道場で開催された第68回国民体育大会の弓道競技に、香美市から4人の選手が出場し、活躍されました。少年男子の遠的で優勝、近的で準優勝した小笠原選手は「チーム内で、どれだけ当てるかを競っていたので、対戦相手の弓は全く気にならなかった」と話し、連覇がかかっていたことについても「プレッシャーはなかった」と話しました。成年女子としては初出場の奥村選手は「優勝を目指していました」と話し、少年女子から成年女子となった環境の変化について「練習量が減り、自分で考えて弓を引かないといけなくなりました」と苦勞を話しました。

成年男子で出場し、4位に入賞した山崎選手は「ここ数年低迷していた成年男子が入賞できて良かった。3位決定戦は今後のためにも勝っておきたかった」と話しました。

山崎選手と同じチームで成年男子に出場した西峯選手は「初めての国体だったが、プレッシャーはなかった。高校で出られなかった国体出場が果たせて良かったです。今回は、チームの二人に引張ってもらったが、今後は中心的存在を目指したい」と意気込みを話してくれました。



おくむら かほ  
**奥村 果穂**選手

昨年、弓道少年女子の遠的と近的で優勝し、県勢弓道少年女子初の優勝と同時に、県勢弓道界初となる2冠の快挙を成し遂げた奥村選手。今年も成年女子に出場し、遠的で優勝。近的で4位に入賞されました。3人で競われる両種目で2番手を務めた奥村選手。遠的の決勝戦では4射30点と活躍されました。物部町大板在住。香北中卒業。高知学園短大。19歳。

市役所本庁舎1階の展示コーナーで入賞者の賞状や写真を 12月10日(火) から1月31日(金) まで展示します。